

道中記を読む

最近新たに道中記が確認（発見）されました。「伊勢代々并大和廻り道中記」というものです。この道中記は、下高野村の嘉右衛門という人物が伊勢方面に旅をした時のものです。表紙には表題のほか、天保十三年（一八四二）正月吉祥日とあり、天保十三年（一八四二）の一月から旅をはじめたことがわかります。嘉右衛門は、下高野村の村役人層と考えられますが、この時代ともなると、「代参講」などにより庶民が旅することも決して珍しいことではありませんでした。

旅の初日（正月十四日）は、粕壁宿で昼食をとり、草賀宿上総屋に泊っています。翌十五日は、馬喰町老町目大松屋泊りとあり、翌々十六日には神奈川宿大松屋泊りとあります。

道中記には、宿屋名のみならず、毎日の昼飯代や宿代もこまめに記述されています。それだけではなく、浅草（おそらく浅草寺）や、藤澤遊行寺への参詣記述など旅の途中に立ち寄った名所の記述も頻りにみられます。そうした日記の記述からは優雅な旅の雰囲気伝わってくるようです。もちろん、現代とは違い、徒歩による旅ですから相当な早歩きで

あることは間違いありませんが、そんなことは前近代ではあたりまえのこと。道中記に旅の疲労や苦勞の記述は一切見られません。十八日の記述は、「（前略）箱根権現参詣致候、御関所前二而、一、百廿四文屋飯代」ともあります。箱根神社に参詣後、関所前にて昼食。なんだか現代の箱根旅行と変わらない気もいたします。

代参講：遠方の名山霊場を信仰する人々が講を結成し、毎年一、二度、代表の者が参詣する方法。



▲伊勢代々并大和廻り道中記

（社会教育課 町史・文化財担当編）

杉戸シニアの元気印★シニアサロン

⑨

サロンたんぽぽ（本郷地区）

活動日

第1～第4金曜日

活動場所

倉付集会所（所在：本郷549）

サロンの特徴（活動内容）

げんきSUGI体操を中心に活動しています。暮らしの保健室やカラオケ・ゲーム、四季折々のイベントも開催しています。

▶ サロンたんぽぽについての問合せ

高崎 ☎ (32) 4700

平成30年10月からの
サロンです。
一緒に参加しませんか。

シニアサロン事務局

高齢介護課 高齢者福祉担当 内線317・318

